



### いばらきの味覚

#### ゆでまんじゅう

結城の代表的な饅頭で、もちもちとした食感が人気。  
昔、はやり病が蔓延したとき、当時の殿様が病払いに民衆に  
ふるまったのが始まりといわれています。市内の和菓子店で販売しています。

#### 主な内容

- ▼ 建設フェスタ 2018 に 2 万人来場
- ▼ 働き方改革へセミナー開催
- ▼ 県が新たな格付基準を公表

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 親子連れなど2万人が来場

建設フェスタ2018 10月27日(土) 笠松運動公園

本会をはじめとする県内の建設業関係団体は、10月27日に「建設フェスタ2018」をひたちなか市の笠松運動公園屋内水泳プール西側特設会場で開催しました。25回目となる今回は初の土曜日開催。明け方には降り続いていた雨も止み、親子連れなど昨年を大きく上回る2万人が来場。建設業の魅力や公共事業の必要性などをアピールしました。

上棟式



本会では親子共演丸太切りや建設作業体験リレー、チャリティバザー、スコップでビンゴ、先端技術体験コーナー（VR、アシストスーツ）などを実施。また、建設現場を描いた小中学生の絵画作品表彰式などを行いました。

その他の団体でも、消波ブロック製作や測量体験、珪素土入り漆喰で光る泥団子づくり、ミニクリスマスツリー製作などを行い、訪れた子どもたちに社会資本整備の必要性や建設産業の魅力を伝えました。



重機試乗体験



建設体験リレー

# 建設業の重要性や魅力をPR

イベント充実 子どもたちも大興奮!

親子共演丸太切り



スコップでビンゴ



消波ブロック製作



ドラム転がし



測量体験



こども空間ワークショップ



クリスマスツリー製作



## 建設現場の風景描写 優れた作品へ表彰状



本会が建設雇用改善事業の一環として実施している「建設現場の風景を描いた小・中学生の作品絵画」の表彰式を執り行い、最優秀賞受賞者に賞状と記念品を手渡しました。作品は今年26日から県庁で展示します。

## 委員会活動報告

## 働き方改革推進を／省エネ研修も実施

## 経営企画委員会



本会の経営企画委員会（佐々木孝夫委員長）は10月29日、水戸市の県建設技術研修センターで会合を開き、働き方改革の推進などについて意見を交換しました。委員会後には事業承継セミナー

を開催し、約100人が事業承継について学びました。

また、9月27日には県内研修視察を行い、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）を実現した藤崎建設工業株式会社（行方市）の新社屋を見学しました。同社の藤崎政行代表取締役からZEH-M（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・マンション）

やCLT（クロス・ラミネーティッド・ティンバー）への取り組みなどについて、説明を受けました。ZEH-Mなどの取組を研修しました



## 委員会活動報告

## 働き方改革セミナー開催

## 人財開発委員会

人財開発委員会（高橋修一委員長）の企画による「建設業における働き方改革セミナー」が10月22日、水戸市の茨城県開発公社ビルで開催されました。長時間労働の是正、週休2日制の導入、建設現場における生産性向上など、約90人が建設業界にとって懸案である働き方改革について学びました。



## 生産性向上や人材育成

## 建設業活性化フォーラム



本会は10月1日、茨城県と共同で「建設業活性化フォーラム」を市町村会館にて開催し、本会員など約130人が参加しました。

「建設業働き方改革の実現に向けて」をテーマに、生産性向上のための人材育成の視点を踏まえ、3人の講師が講演しました。

## 小中学生に建設業の楽しさ伝える

CCI 茨城

### 大洋中の生徒が倉庫を建設

本会などで組織するCCI（県魅力ある建設事業推進連絡会議）は10月2日、銚田市立大洋中学校で校倉工法による木造倉庫の建設体験学習を実施。同校の1年生60人が建設未来協議会鹿行地区会員の指導のもと、コンクリート打設や測量を行い、建設業への理解を深めました。



開会式後、生徒たちは3班に分かれ、校倉倉庫の基礎工事や測量体験のほか、ドローン測量操作などを体験しました。

生徒からは「ログハウスづくりの体験ができると聞いて、とても楽しみにしていました。大勢の皆さんのご協力をいただきながら、一生懸命頑張りたいと思います」との声が聞こえました。



大子支部  
活動報告

### 袋田小で建設体験学習

大子支部（大藤博文支部長）は10月31日、大子町立袋田小学校で建設体験学習を行いました。当日は3・4年生25人が参加し、重機の操作や土のうの作り方などを体験しました。

作業に先立ち、大藤支部長は「建設業は皆さん



が使う道路などをつくり、皆さんが安全に過ごせるような環境をつくっています。本日はけがのないよう楽しみながら、安全に体験してく



ださい」と呼び掛けました。

児童たちは2班に分かれて、砂場清掃と重機操作を体験。重機を操作した児童は「エンジンをかけるときにドキドキした。思ったよりも早く動くと感じたが、とても楽しかった」と笑顔で話していました。

# 建災防支部長表彰に10社3人

無事故の現場など称える 茨城県産業安全衛生大会

茨城労働基準協会連合会（鬼澤邦夫会長）や建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）など、県内で労働災害防止に取り組んでいる6団体主催による茨城県産業安全衛生大会が10月4日に水戸市の県立県民文化センターで開催されました。



建設業労働災害防止協会茨城県支部長表彰では、本会会員の10社と3人が受賞しました。おめでとうございます。

主な受賞者は右の通りです（敬称略）。

【厚生労働大臣表彰】

〔奨励賞〕

◆清水・岡部・山本特定JV＝土浦駅北地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事（土浦市）

【建設業労働災害防止協会県支部長表彰】

〔事業場賞〕

◆(株)吉田組（日立市） ◆郡司建設(株)（土浦市）

◆(株)進栄（常陸大宮市） ◆大昭建設(株)（龍ヶ崎市）

◆(株)大平工業（鹿嶋市）

〔現場賞〕

◆(株)福島工務店（境町）

◆(有)飛田組（常陸太田市）

◆松丸工業(株)（守谷市）

◆株木・常総特定JV（神栖市）

〔功績賞〕

◆鶴田哲男（(株)鶴田組、那珂市）

◆会田康之（石塚産業(株)、下妻市）

〔職長賞〕

◆石井洋明（(株)袴田工務店、大子町）

## 件数微増も請負金額は減

### 30年度上半期の 県内公共工事動向

東日本建設業保証(株)茨城支店によりますと、前払金保証実績から見た平成30年度上半期（4～9月）の公共工事（施工場所が県内のもの）は、件数が3536件で前年同期比0.7%増、請負金額は1708億9955万8000円で同9.9%減となりました。

主な発注者の請負金額を見ますと、国土交通省が246億5102万円（141件）で67.2%増、東日本高速道路(株)が27億7096万9000円（12件）で38%減。

県では土木部が355億1491万9000円（1101件）で5.1%減、農林水産部が62億7704万2000円（190件）で8.1%増となりました。

○累計（平成30年4月～9月）

（金額単位：百万円）

	30年度		29年度		対前年度増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	177	26,421	149	15,364	18.0%	72.0%
独立行政法人等	66	7,787	62	8,291	6.5%	-6.1%
県	1,459	51,753	1,405	51,043	3.8%	1.4%
市町村	1,713	76,757	1,783	106,587	-3.9%	-28.0%
地方公社	27	1,650	21	1,334	28.6%	23.7%
その他	94	6,529	92	7,136	2.2%	-8.5%
合計	3,536	170,899	3,512	189,758	0.7%	-9.9%

# ICT施工や週休2日などで加点

茨城県が新格付基準発表

H31・32の申請受付は12月3日(月)まで

茨城県土木部は、平成31・32年度における県建設工事等請負業者の入札参加資格審査(格付)基準を改正しました。審査申請受付期間は11月6日(火)～12月3日(月)で、従来より約2カ月早くなっているのでご注意ください(※特例受付期間12月25～28日)。

主な変更としては、従来の「客観点」を「経営事項審査評価点」に、「主観点」を「技術等評価点」にそれぞれ変更し、ICT施工や週休2日(4週8休)の取り組みなどに対して加点します。優良工事表彰では対象年度を従来の過去3年から2年に、知事表彰の加点を20点から30点(17年度分は20点)に改正。新制度としては、昇級する場合でも事前の申し出に応じて現在の等級への残留が可能な残留措置制度を創設します。

変更のあった技術等評価点(旧主観点)

評価項目	理論上の最高得点		
	改正前 (H29・30年)	改正後 (H31・32年)	差
工事成績	410	360	-50
優良工事表彰	60	50	-10
技術者の確保・育成	40	50	10
社会貢献活動	30	20	-10
常勤雇用・若年者雇用	30	40	10
ワーク・ライフ・バランス(週休2日等)	5	12	7
女性活躍	5	10	5
新しい技術の導入(ICT施工)		10	10
企業立地	5	15	10

土浦支部  
活動報告

## 暴力追放推進へ 連絡会議を開催



土浦支部(佐々木勇支部長)では、茨城県建設業暴力追放推進協議会土浦支部の連絡会議を10月12日に支部会館で開催し、支部員や警察署員、管内発注機関の職員など合わせて約100人が出席しました。佐々木支部長によるあいさつの後、土浦警察署刑事第二課長の林田健太郎氏の講話と、元日本ハムファイターズヘッドコーチの阿井英二郎氏の講演が行われました。

竜ヶ崎支部  
活動報告

## 72人が献血参加 貴重な血液提供

竜ヶ崎支部(細谷武史支部長)は9月29日、龍ヶ崎市建設業組合とともに龍ヶ崎市役所敷地内で献血ボランティア活動を行いました。13回目となる今回は、72人が貴重な血液を提供しました。

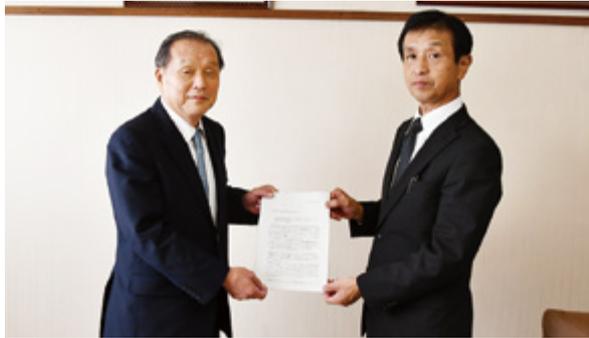
茨城県赤十字血液センターによると、この時期は献血者が少なく、多くの輸血が出るため、建設業従事者の献血はありがたいといいます。

同支部は、今後も地域社会に貢献できる団体として活動を続けていくとしています。



## 長時間労働削減を

茨城労働局が要望



茨城労働局が10月24日に本会を訪れ、石津健光会長へ長時間労働削減をはじめとする働き方の見直しに向けた取り組みに関する要請書を手渡しました。瀧川福実監督課長は「取り組みの趣旨をご理解いただき、団体・企業等に対する周知啓発に向けてご協力をお願いしたい」と要請。これを受け、石津会長は「休日確保は人手不足の解消に向けて改善しなければならない課題。問題点を1つ1つ解決し、より魅力のある業界にしていきたい」と応じました。

### 新みらい(土浦支部)

## 優良事例として選考

施工の工夫・改善で

全国建設業協会による平成30年度「建設工事の施工上の工夫・改善、事業提案事例」において、本会の(株)新みらい(土浦支部)が応募した『コンクリート打設後の養生マットの固定の改善』が、優良事例として選考されました。また、建設産業人材確保・育成推進協議会による平成30年度「私たちの主張」において、同社の中莖賢児さん(26)の作品、『小さな野望』が佳作に選定されました。おめでとうございます。今後のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。



## あなたの土地が狙われています!

「一時的に資材置場として貸してほしい」「良い土で土地を埋め立ててあげます」などと、うまい話を持ちかけられ、安易に同意してしまった結果、廃棄物を不法投棄されたり、無許可で建設残土を埋め立てられたりする事例が発生しています。

これらの責任や処理費用の負担は、行為者だけでなく土地所有者に及ぶこともあります。

不法投棄、野焼き、不適正な残土埋立てを発見した場合は、直ちに専用ダイヤル「不法投棄110番」まで通報をお願いします。

※不法投棄・野焼きを見つけたら  
不法投棄110番(0120-536-380)へ  
受付時間は平日の8時30分~17時15分。

問い合わせ:茨城県廃棄物対策課  
☎029-301-3033

## 会員の動向

### <社名変更>

▽大子支部  
(株)野内トーヨー住器 → 野内

## ちよつと一言



「建設フェスタ2018」が10月27日に開催されました。25回目となる今年度は、建設フェスタの歴史のなかで初めての土曜日開催。当日の朝までは雨が降り、天候や集客数に不安もありましたが、開会式前には雨もあがり、結果、約2万人の来場者を迎え盛大に開催することができました。

今や国内最大級の建設関連イベントとして全国的にも知名度がある建設フェスタとなっており、今後も継続的に開催し、建設業の魅力を発信していきたいと思います。

建設フェスタにご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。(K)